

総括火葬技術管理士講習会に火葬技術管理士会から3名受講

日時:令和5年12月7日(水)~9日(金)

会場:サンピアンかわさき(川崎市立労働会館)

カリキュラム:墓地埋葬法概説、火葬場を取り巻く諸問題、日本の火葬事情、
火葬の在り方、火葬場の環境保全対策、有害物質特論、

火葬場の設置概論、火葬場の労働衛生概論、火葬場の建築概論

日本環境斎苑協会は、火葬場の大規模化、技術の高度化及び火葬技術管理士の認定数の増加に鑑み、これまで通信教育として行われていた火葬技術管理者通信教育(1級、2級)に加え、新たにより上級の資格制度として、総括火葬技術管理士の講習会を開催し、幅広い知見を習得し、高度化し、大規模化する火葬場の適切な管理に対応する管理技術者の養成を図ることを目的とした「総括火葬技術管理士」の新制度を創設されました。この三日間の講習会には15名が受講し、内3名が当会の会員が受講しました。最終日には択一試験と、後日提出するレポート試験が行われました。今後、総括火葬技術管理士資格取得者が全国の火葬場で活躍されることとなるでしょう。



(開講の挨拶 奥村明雄理事長)



(択一試験 最後まで真剣に取り組む3会員)